第 47 回　セルフケア事例検討会　レポート

平成 30 年 11 月 3 日に福島県立矢吹病院さんから事例を提供していただき、医大看護学部にて事例検討会を開催しました。今回は午前中に看護学セミナー「自閉症スペクトラム障害患者へと家族へのアプローチ」を開催したこともあり、参加者は 50 名と普段よりも多い人数になりましたが、その分様々な意見をいただくことができました。

午前中の看護学セミナーを受けて、矢吹病院さんから発達的な問題を抱えている事例を提供していただきました。事例は知的障害のある患者さんで、要求が多く、感情コントロールは苦手なため、些細なことで他害行為が見られてしまい、スタッフが対応の難しさを感じているケースでした。ディスカッションを進めていく中で患者さんの抱えている障害を理解できていない対応などにも気がつくことができ、健康的な部分に目をむけ、患者さん本人の能力にあった目標設定の重要さ、さらにどのようにスタッフが関わるかなどについてみんなで考えることができました。

それぞれの施設においても同様な事例が多く対応の難しさを共感でき、参加した皆さんが抱えている事例を振り返ることができる時間となりました。

今回は、看護学セミナーと同日開催という初の試みでした。セミナーでの知識を活かし事例を考えることができ、学び多い一日となりました。